

クロストーク

# アーカイブズ、展覧会、建築教育



日時 | 2026 年 2 月 22 日 (日) 14:00 ~ 16:00

場所 | 熊本市現代美術館ホームギャラリー 入場無料

登壇 | 藤本貴子：アーカイブズから引き出す大江宏アーカイブと教育活用

川勝真一：建築展のキュレーションーナラティブとディスプレイ

岩元真明：「葉祥栄再訪」ができるまで：アーカイブと建築教育と展覧会

クロストーク：「アーカイブズ、展覧会、建築教育」（司会：國友拓郎）

主催 | 九州大学葉祥栄アーカイブ／「芸術×科学による分野横断型高度クリエイティブ人材育成プログラム」／熊本市現代美術館

助成 | 文化芸術活動基盤強化基金「クリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）」

建築資料を保存・公開する建築アーカイブズ、建築の価値や魅力を社会に伝える建築展、そして次世代の担い手を育てる建築教育。これら3つの実践はいずれも、「文化としての建築をいかに次代へ継承するか」という共通の問いに根ざしており、日本の豊かな建築文化をいかに世界へ発信するかという課題と深く結びついています。それぞれが単独で完結するのではなく、互いに関わり合うことで、その意義や可能性はさらに広がっていくのではないのでしょうか。本クロストークでは、建築アーカイブズ、建築展のキュレーション、建築教育の現場に携わる実践者が集い、領域を横断しながら語り合います。

建築は、専門家だけのものではありません。アーカイブズも、展覧会も、教育も、建築文化を社会とつなぐ大切な手がかりです。建築に関心をお持ちの方にひらかれた場として、広く一般の方の参加を歓迎します。

本事業は、独立行政法人日本芸術文化振興の文化活動基盤強化基金「クリエイター等支援事業（育成プログラム構築・実践）」による助成を受けて実施します。



藤本貴子 / Takako Fujimoto

建築アーキビスト

磯崎新アトリエ勤務後、2013～2014年、文化庁新進芸術家海外研修員としてアメリカ・欧州の建築アーカイブズで研修・調査。

2014～2020年、文化庁国立近現代建築資料館勤務。法政大学デザイン工学部建築学科教務助手を経て、現在、同大学専任講師。博士（文学）。



川勝 真一 / Kawakatsu Shinichi

建築キュレーター

2008年京都工芸繊維大学大学院修了。建築展覧会のキュレーションや、市民参加型のワークショップ企画・運営などにに関わり、2023年に一般社団法人建築センター CoAK を設立。現在、京都工芸繊維大学特任研究員、京都芸術大学教授、一般社団法人建築センター CoAK 代表理事。



岩元 真明 / Masaaki Iwamoto

建築家

2006年シュトゥットガルト大学軽量構造デザイン研究所研究員、2008年東京大学大学院修了。難波和彦+界工作舎スタッフ、Vo Trong Nghia Architects パートナーを経て、独立。

2019年から九州大学葉祥栄アーカイブに関わる。現在、九州大学准教授、ICADA 共同主宰。博士（工学）。

CAMK

YSA



DANG

